

「ハレとケ」 通信

第15号

「非日常」と「日常」の、日本の風情のかたちを楽しむ暮らしをご提案する季刊誌です。

建設に携わることの幸せを、おすそわけ。

物語のある建築 (15)

「—信頼が人を動かす—」

総合メデイカルグループ」

「ハレとケ」のある 暮らしかた

【土用／立秋前の18日間】

中津万象園「花の歳時記」

【トキワツユクサ】

平成 24 年 6 月発行

5 年ほど前に友人と登った鳳凰三山。
山小屋の近くから、夕焼けに霞む富士山を眺めた。

「―信頼が人を動かす―

総合メディカルグループ」

現在、弊社で常務を務めている米田 卓。

彼が、毎年、新年会に参加するたびに、「いやあ、すごい会社ですよ。この会社の新年会に招かれるとは、うちにとって自慢して良いことですよ。」と感心して話す会社がある。

九州に本社を置く「総合メディカルグループ」である。

これまで何度もその言葉を聞いていたものの、ただ単に「業績も良く、社会的な使命や理想をもった経営をし、将来性も可能性もある会社だから、取引先としてうちが選ばれたことを誇りに思う」という意味だと受け止め、それ以上は米田に尋ねず、納得していた。

ところが、今回のインタビューの中で、その米田の言葉の意味が、まったく違うニュアンスの言葉だったことに気がついた。そしてそれは、建設業の持つ本来の魅力、つまり「相手と丁寧に向き合うことから生まれる信頼感」をベースに、共に作り上げることの幸福感を、改めて感じさせる内容だった。



施工したクリニックの例

現在、弊社で常務を務めている米田 卓。いわゆる専任の営業マンではないが、ご縁のあったお客さまとして、大事に語る相手がいくつかある。その中のひとつが、今回ご紹介する、「総合メディカル株式会社」(グループ会社：株式会社ソム・テック)である。

現在まで、総合メディカルグループより請け負った工事は、薬局4店舗、医院新築3件、医院改修2件、と実績を重ねてきたが、総合メディカルとは、九州を拠点に、「よい医療は、よい経営から」を掲げ、コンサルティング、調剤薬局、医師転職・開業などを手がける会社。

病医院が効率的で質の高い、患者さん中心の医療を実現するお手伝いとして、病医院のパートナーとなり、コンサルティングをベースにした経営のトータルサポートを行うことを目的に全国で幅広く事業を展開する、東京証券取引所市場第一部上場、資本金三五億二〇〇万円、売上高八〇二億円超(二〇二二年三月)の企業である。

我々地元の中小企業とは桁の違う大企



弊社常務取締役 米田卓

業であるが、そもそも、なぜ弊社が関わ
るご縁をいただけたのだろうか。

米田に尋ねると、「地元の永康病院の院
外薬局が平成十一年にできたんですけ
ど、それが一番最初なんです。その薬局の
候補地が、弊社がとてもお世話になっ
ているMさんの土地で、そのご縁から、日
頃永康病院さんの工事を担当していた私
に、話が来た。総合メディカルさんから
すれば、建物の器は土地所有者が、内装
は総合メディカルが負担するわけだから
器自体は、所有者が望むなら、どこの業
者でも良かった。そこで、『じゃあ、富士
さんに…』ということになったわけ
です。』と話す。

なるほど、と出会いは分かったものの、
「じゃ、次の案件はどことだったの?」と

聞けば、なんと、岡山。

「総合メディカルさん、他に業者を全
く知らなかったわけじゃないでしょう?
規模の小さい薬局を香川でたまたま担当
したうちに、なんで岡山の話がきたん?
と、不思議に思って尋ねると、「実は、詫
間のその薬局の建築の際、現場を担当し
ていた中西が、おさまりや、仕様材料や、
使い勝手など、色々工夫して提案をし
たようなんです。その提案が認めてもら
えて、当時の『そうこう薬局』の、標準
仕様にも採用してもらっていました。

また、薬局の設計は、総合メディカル
のグループ会社のソム・テックだったわ
けだけど、九州からでは、確認申請関連
も遠くて大変だろうと思って、弊社設計
課の豊嶋が代理で窓口の交渉などをして
手間の軽減が出来るように工夫しまし
た。

そういった工夫は、規模が小さかった
からでしょうか、あまり余所の工務店は
していなかったらしいんです。そんなこ
んなで、総じて『富士建設は対応が良い』
ということになって、岡山の薬局も任せ

ていただけることになったんです。」との
こと。それを聞いて嬉しくなる。建設会
社として誇りに思える瞬間だ。

こうして出来たご縁のおかげで、平成
十二年の新年会より、総合メディカルグ
ループの新年会へ招かれるようになった
弊社であるが、同十三年、そこへ初めて
出席した米田は、深い感銘を受ける。

「この新年会、九州で行われているん
ですけど、四〇〇〜五〇〇人くらいの宴
席に招かれているのは、いわゆる関係者
や、『協力企業』ばかりなんです。つまり、
お医者さんなどの総合メディカルグルー
プさんの『お客様』は、同じ席ではない。
だからこそ、我々『協力企業』を大切に
思ってくれていることが伝わってくる。

また、あんなに大きな会社なのに、会
場入り口の付近に会長、社長を始め役員
の皆さんが並んで出迎えてくれて、『お元
気ですか?』『いつもお世話になっていま
す』と一社一社に声をかけてくれるん
です。岡山の薬局の起工式の際、急いで駅
へ向かわねばならなかった、当時のソ

ム・テックの社長を車で送ったことがあ
ったのですが、その社長は、総合メディ
カルの専務も兼ねられていた。その専務
も、私たちのことを覚えていてくれてい
て、入り口で『あのときはありがとう』
と声をかけてくれる。正直、かなり感動
しますよ(笑)。『この会社のためにがんば
ろう、たとえ何かトラブルがあっても
なんとかしなきゃ!』という気になるし、
あの新年会に出るだけで、総合メディカ
ルグループの会社の姿勢というか、理念
が伝わってくる気がします。それを感じ
させるくらい、素晴らしい新年会なん
です。そして、その招かれた数百社のうち、
四国の建設会社で招かれているのは、富
士建設だけなんです。誇らしいことだ
よね。」

そして、平成十六年。総合メディカル
グループから請け負う初めての医院新築
案件となったのが、N医院だった。その
きっかけを尋ねると…

「総合メディカルグループさんの新年
会に参加するために九州へ行ったとき、

『ちょっと頼み事があるから、事務所へ寄ってほしい』と言われていたんです。そこで、万象園の饅頭を持って事務所へ訪ねていったら、『香川県のある案件で、どうしても【真北】が知りたい。風水などの方位を大切にされるお客様なので、正確に【真北】が知りたいから、測って来てくれませんか?』と。

磁石はどうしても誤差が出るし、どうすれば真北が分かるかな…と考えて、私が相談したのが、日頃お世話になっていた会社のご近所のKさん。Kさんのおかげで無事に真北が測れたわけですが、後でソム・テックさんに『どうやって測ったの?』と聞かれて『じつは物理の先生に聞いて…(Kさんは物理の先生)』と笑ったりののが、初めての医院の案件、N医院さんとなりました。」

このときにソム・テックの担当者として出会ったのが、O氏。米田にとって、心から信頼できる人である。

「2週間に一回、N医院の現場の定例会があったのですが、必ず丸亀駅までOさんを迎えに行って、そこから一時間かけ

て現場まで同行していました。別に、丸亀駅ではなく、最寄り駅まで来てもらえば良いことかもしれないけれど、丸亀から一時間車中で話すことで、コミュニケーションもとれるし、気心も知れてくるので。」[※] つきあうときは、丁寧に向き合う[※] 米田らしい接し方である。

そのように丁寧に向き合ってきたOさんとは、どんな人なのか。

米田曰く、「Oさんは、元々設計事務所にいたように聞いているけれど、施工側、工務店側のどちらに偏ることもなく、公平に冷静に判断の出来る人。

厳しい人だし、言わなければいけないことはビシッと言うひとだけれど、自身にも厳しいから、たとえばOさんのミスや勘違いなどがあったときには、施工の前であっても、『申し訳ないことになってしまった。すまないけれど、頼みます。』と自分の非も認めてくれる。

だからこそ、監督は皆、Oさんの言うことは素直に受け入れるし、彼と仕事をすることで成長できる。ちなみに、これまで担当した監督はみんな、仕事が終わ

った後も、『Oさんが言うんだったら、行かないかんでしょ。』と、どんなに忙しくてもOさんのために動くんです。むしろこの人のためなら、ソム・テックの人間として、ソム・テックさんのために動いても良いくらい(笑)。」

この歯科医院の新築の後、平成十六年に、香川にも大きな被害を与えた台風がやってきた。

「富士さんの施工じゃないんだけど、うちのお客様で雨が漏って困っている方がいる。高松だけでも見に行ってもらえないか」と、ソム・テックさんから連絡が入ったんです。信頼しているソム・テックさんからの依頼ですし、台風の中を向かいました。見終わって、さあ…と医院の前を見たら、道が冠水している。『あちゃー』とは思ったけれど、『ここまで来たなら、N医院さんの様子を見ておこう』と、そのままN医院へ。N医院さんの奥様と会って無事を確認、ソム・テックさんへも報告をしたのですが、丸亀の家に帰るころにはずいぶん遅い時間になって

しまいました。

家に帰ったら、なんと自宅の前の土器川が警戒水域を超えていて…。女房からは、『なんでそこまでしなきゃいけないの!こんな台風の時に、心配するでしょ!』と怒られましたけど、自分では行くべきと納得してたんです。信頼しているソム・テックさん、総合メディカルさんのお客様ですから。」

その丁寧に向き合う姿勢が、次の信頼を生むときが来る。高知のクリニックの案件である。



施工したクリニックの例



施工したクリニックの例

高知にあるクリニック。またしても県外の案件である。薬局と比べ、規模の大きいクリニックの新築なら、地元業者が当然入札に参加していたはずだが…。

「いや、あの案件は、本当は、高知の業者さんで決まっていたんですよ。うちの入札した価格は、そこよりも正直ずいぶん高かったし、香川県と地理的にも遠かったし。だけど、その一番札で決定していた業者が、土壇場で『できません』と、施主に断ってきたんだそうです。

ソム・テックに紹介されてお客様に会いに行ったとき、お客様は、かなり弊社…というよりも、工務店に不信感を抱いていらつしやいました。社長と二人で邪魔したのですが、『遠いし、何かあったら、本当にちゃんと来てくれるの?』とも。そのときに思わず、ソム・テックの担当者の方に、『私、あの台風の時に、ちゃんとお客様のところへ行ったじゃないですか。そのことを信用できませんか?』と言ってしまったんです。そうしたら、

『そうだね。行ってくれましたね。信用しても良いはずですね。』と、認めてくれた。そして、その言葉で弊社を信用してくれたお客様が、涙をこぼされたんです。あれは忘れないですね。

後で聞いたら、本当に一方的な工務店からのキャンセルだったらしいです。でも、一旦そこで施工業者が決まっていたんだから、当然ながら、その金額で計画も練っているし、資金調達額も変わってきますよね。それに、そのお客様は、敷地の問題や様々なトラブルを一つ一つクリアして、やっと目の前に契約を見た、

そのときになつてのキャンセルだったそうです。工務店に一方的に断られたとき、それまでのご苦労を思い出して、本当につらい思いをされたのだと思います。優しい、誠実で公平なお人柄の先生なので、あの時に安心されたんじゃないでしょうか。

その時の言葉を裏切らず、竣工後も米田、そして現場担当者の高島は、今も高知へメンテナンスにうかがっている。

現在まで、総合メディカルグループより請け負った工事は、薬局4店舗、医院新築3件、医院改修2件、その他メンテナンスや修繕など、多くを数える。お互いに信頼しているからこそその実績と誇りに思っているが、この米田の接し方は、「営業マンでないからこそ」できたものかもしれない。ノルマがないので、多くのお客様や相手に会うことも必要はないし、たとえ受注につながらなくともかまわない。

ただ、この話から伝わってきたことは、「信頼してくれるからこそ人は動く」と

いう、ごく当たり前の事実だ。

信頼するO氏のため、会社の姿勢・役員の皆さまの姿勢を信頼している総合メディカルグループのため、自分を信じてくれたお客様のため。一般に、「人は自分のためなら頑張れないけれど、誰かのためなら頑張れる」と言われている。もちろん、各案件は営業上では入札であつたり、地理的な条件があつたり、理想だけでは片付けられない諸条件もあるかもしれない。でも、米田にとつては、これらの一連のお仕事は、信頼できる絆でつな

施工したクリニックの例



がったものであり、それが何よりも大事なことだった。

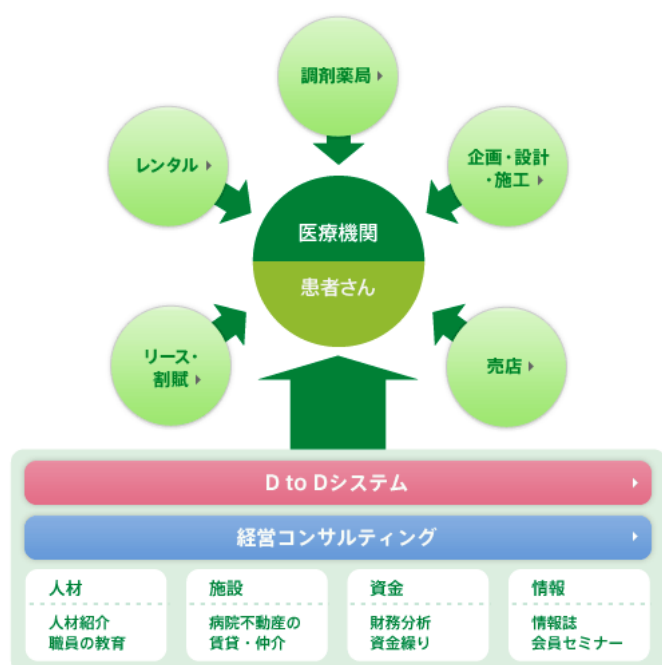
「人間同士の付き合いが出来て、『信頼されたら動く』『丁寧に向き合って信頼する』。これができる仕事が増えていけば、当たり前だけど良い会社になりますよね。」

…そう話す米田の大事にしている言葉は、祖父の口癖だった、『まだ』は『もう』也、『もう』は『まだ』也。『もういいか、と思うときは、まだまだやらなきゃいけない時で、まだできる、と思うときは、もう止めてもいいとき。自分に甘えず、甘えの気持ちがあるときは踏みとどまる。まだ行ける、と無理をしそうなときは、そこで止める。その心得を表した言葉だと思っています。」

ちなみに、米田の強みは、「とことんつきあう」ことでもある。お酒の席も、夜が明けるまで一緒に話す。そして、どうやら声が哽れるほど議論するときもあるらしい。「真剣に議論する。話し合う。それをするこゝで、不快感もなくなるし、距離も縮まる。でも、そもそもそれがで

きる相手じゃないと、信頼し合うためのプロセスも共有できない。総合メディカルさん、ソム・テックさん、Oさんに出会えたことは、幸せな縁だったと思っています。」

理想論かもしれないけれど、こんな関係があちこちであふれている、そんな会社になりたい、と思う。そして、弊社がこのようなご縁に恵まれたことに、改めて心から感謝しています。(了)



◆サービス内容

【D to D】

D to D (Doctor to Doctor)は、勤務医、開業医、病院の抱える課題を総合的に支援していくシステムです。

【経営コンサルティング】

医療界の最新情報、疑問や悩みなど、経営面での情報収集や問題解決をするうえで、お気軽にご利用いただける会員制度です。

【医薬連携(分業)】

「そうごう薬局」は「医薬連携」を支援しています。

【医療機器リース】

よい医療を提供するために必要な医療機器の導入や更新を経済的、合理的に実現します。

【レンタル(テレビシステム)】

快適な入院生活の実現に向けて

【医療施設の設計・施工】

Amenity for Health

快適な医療環境を求めて

【リスクマネジメント(保険の総合診断)】

安心して医療に専念していただくために

【人材紹介(コメディカル)】

医療の質は「ひと」で決まります。優秀な人材と医療機関との価値ある結びつきを実現します。

【病院内の売店】

明るい店内、豊富な品揃え、心のこもった接客などで患者さんやそのご家族の方に満足いただける売店づくりを目指します。

会社名	総合メディカル株式会社
本社	福岡市中央区天神 2-14-8 福岡天神センタービル 16 階
本社別館	福岡市中央区天神 3-9-33 KG 天神ビル 3 階
設立	昭和 53 年 6 月 12 日
資本金	35 億 1300 万円
売上高(連結)	802 億 2200 万円 (2012 年 3 月期)
株式	東京証券取引所市場第一部上場 (証券コード 4775)
事業内容	医療経営コンサルティング 医療機関への医師の紹介 医師の転職・開業支援 コメディカルスタッフの紹介・派遣 保険調剤、一般薬・介護用品の販売 医療機器などのリース 入院患者向けテレビのレンタル 医療施設の企画・設計・施工

この季節を暮らす。(15)【土用／立秋前の18日間】

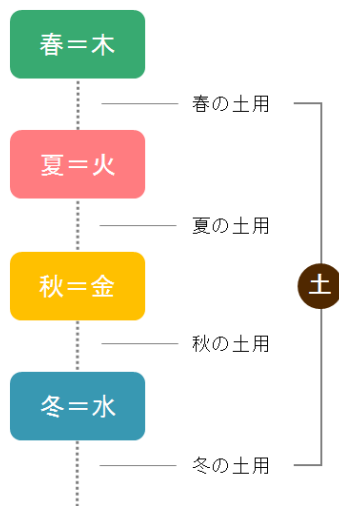
気温が高くなってくる7月、「土用の丑の日は鰻」といった文言をよく目にするようになります。暑い夏を乗り切るために、勢力のつく鰻を食する習慣は、古くは江戸時代からあったようです。

そんな「土用」ですが、夏だけでなく年に4回あることを存じですか？

◆土用の由来◆

土用とは、古来中国から伝わった『この世にあるものはすべて、木、火、土、金、水の5つの要素を根源とする』という五行説に由来する雑節のひとつです。

五行では、春に木気、夏に火気、秋に金気、冬に水気を割り当てます。残った土気は季節の変わり目に当てはめられ、一年のうち、立春、立夏、立秋、立冬の直前約18日間(19日間の場合もある)を「土旺用事」、「土用」と呼びます。



◆土用の禁忌◆

季節の変わり目を示す「土用」には、様々な禁忌があったとされています。たとえば、土用中に動土・穴掘り等の土を犯す作業は忌むべきこととされ、土いじりをしてはいけない、丑の日に大根の種を蒔いてはいけない、葬送は延期しなければならないなどです。

このような禁忌が生まれた背景には、「土用中は季節の変わり目であるために、農作業などの大仕事をする体調が崩れやすい」といった先人からの戒めが込められていたようです。

現在では、「土用」と聞くと立秋の前の「夏の土用」が、最も馴染みがあるのではないのでしょうか。

◆土用の丑の日◆

「土用の丑の日」と聞くと、思い浮かべるのはやっぱり鰻。日本では古来より土用の丑の日には鰻を食べる習慣があります。この習慣の始まりには諸説ありますが、ここ香川県出身の平賀源内が発案したという説が、最もよく知られているようです。その説とは、江戸時代、夏の暑さで商売



がうまくいかない鰻屋が、何とか鰻を売れないものかと、蘭学者である平賀源内に相談したところ、「丑の日に『う』の字が附く物を食べると夏負けしない」という民間伝承からヒントを得て、「本日丑の日」と書いた貼り紙をすることを勧められます。そこで言われたとおり貼り紙をしてみると、「物知りな源内の言うことなら」と、鰻が飛ぶように売れ、その鰻屋は大変繁盛したそうです。その後、他の鰻屋もそれを真似るようになり、土用の丑の日に鰻を食べる風習が定着したのだそうです。

地方によっては鰻以外に、スタミナのある馬の肉や牛肉、胃に優しい瓜や梅干、うどんなどを食する習慣もあったようです。

実際鰻には、夏バテ、食欲減退防止の効果が期待できるビタミンA・B群が豊富に含まれているため、夏の栄養補給には最適なのです。

◆丑湯 ― 無病息災のおまじない ―

丑の日に、無病息災を願って入る丑湯というものがあります。江戸時代頃は、桃の葉を布袋に入れた桃湯を丑湯としていました。毎日入浴できなかったこの時代、丑の日のお風呂は特別にさわやかなものだったようです。

お家でも簡単にできる丑湯をご紹介します。

①生の茎や葉を水洗いして、適当に刻むかそのまま布袋に詰め、浴槽に入れ、水から沸かします。給湯式ならお湯の吹き出し口辺りに袋を入れ、香りを出しながら給湯します。

②袋をよくもんで、葉の成分を出しながら入ります。

丑湯におすすめのハーブ

ードクダミー

日本三大薬草のひとつ。夏のあせもや湿疹に効きます。庭や露地に生えているものの葉を刻めば簡単です。

ー桃の葉ー

日焼けした肌の炎症をしずめます。葉は通信販売でも取りよせられます。

ー緑茶ー

緑茶のサポニンとカテキンが、夏の暑さで広がった毛穴をスッキリ引きしめます。緑茶パックか、茶葉をたつぷり詰めた袋をお風呂に入れます。

※参考文献『なごみ歳時記』

今年も、非常に暑い夏を迎えることになると思いますが、土用の丑の日にはぜひ、鰻を食べて体力をつけ、丑湯に入って心も体もリフレッシュして下さい。

(文・土岐 倫子)

「花の歳時記」

爽やかな薫風を受けて新緑の園内を

散策中、ふと足をとどめ目を奪われる草花がありました。それは茶室「母屋」から「鶏足嶺」に到る園路北側の竹林中に

今を盛りと咲き乱れるトキワツユクサの白い花でした。多数の花がゆらゆらと揺れている景を目の当たりにして、「無数のモンシロチョウがこの竹林に舞い降り飛び交っているのでは。」といった錯覚にとらわれ、私はモウソウチクとトキワツユクサの見事な調和に、ただ感嘆するばかりでした。

なお、表題の植物名トキワツユクサは植物分類上の和名ではなく、品種改良の

竹林中のトキワツユクサ

結果命名された園芸品種名であります。その命名に到る過程については明確な資料がありませんが、私は以下のように考えています。

“その選出母体となった植物は、北アメリカ原産の多年草で、明治時代の初めごろ日本に渡来したムラサキツユクサ（ユクサ科・ツユクサ属）であることはほぼ確実です。その青紫入りのムラサキツユクサの中から、日本の育種家が白色の突然変異種を発見し、その品種として固定の上、「トキワツユクサ」と命名普及して今日に到りました」と。（長岡 公）

＜中津万象園・丸亀美術館へのアクセス＞
瀬戸中央道路 坂出北ICより約8.5km／約15分
坂出ICより約14km／約20分
高速道路善通寺ICより約5km 約10分



【長岡 公 氏】

昭和2年10月 香川県丸亀市津森町に生まれる。
昭和26年3月 鹿児島大学鹿児島農林専門学校農学科卒業
昭和26年4月以降 香川県公立高等学校教員として
主基高等学校・飯山高等学校・
笠田高等学校・農業経営高等学校教諭、
高松南高等学校・飯山高等学校教頭
昭和63年3月 定年退職 香川西高等学校教頭
現在 公益財団法人中津万象園保勝会 理事
※主な著書に「讃岐の名園紀行」（栗林 玉藻編／中西謙編）がある。

【編集後記】 今年、弊社は創業六十周年を迎えました。

建設会社というのは、皆さまイメージしやすい仕事の一つかとも思いますが、責任重大なのはもちろん、実は幅広い知識の必要な仕事でもあります。建物の出来が、使い勝手、快適さのみならず、環境や売上も左右してしまうことがありますから、お客さまの業種のことをある程度知っていないと難しいのです。

また、もっと大きな目で見れば、建物の集合が「街」ですから、街の風景も変えてしまふ。そして分かりやすい例であれば住宅がそうであるように、そこに暮らす人、利用する人の価値観をも変えうるのです。生活の中に根付いていない文化、遊び（教養）は、必ず滅びていくと感じていますが、生活に根付かせる上で大きな役割を果たすのが、建物だとも考えています。つまり、色んな意味で「建築は文化なり」、建築は文化の集大成なのではないでしょうか。

だからこそ建設会社は、社会のこと、日本のこと、文化のこと、未来のことを、本気で考えないといけない。ただ、今の世の中はより専門的で細分化されていて、すべてに「プロフェッショナルである」ことは困難です。また、建物だけでなく、広告、不動産、コンサルタント、リスクマネジメント…とトータルでその企業、お客さまの価値観を演出し体現する能力をもっていること、そして、ビジネスマッチングもできることが求められる時代なんじゃないかとも思うのです。

そこで、それをよりベストな形で実現するために、私たちは社外のような分野のプロとチームを組んで取り組んでいきたいと、と考えています。そして、そうすることで、よりお客様のニーズに応えられると信じています。

「建築は文化なり」。そのことを肝に銘じて、しっかりと誇りと責任感をもって取り組んでいきますので、今後ともよろしくご指導ご厚情の程お願い申し上げます。

*****御意見、御感想をお聞かせ下さい*****



建設業許可：香川県知事許可（特23）第189号
／一級建築士事務所：香川県知事登録 第416号
／宅地建物取引業免許：香川県知事登録（10）第1997号

富士建設株式会社

本社：〒769-1101
三豊市詫間町詫間 300 番地 1
TEL0875-83-2588(0120-832589)
FAX0875-83-5864
http://www.fujikensetsu.jp
mail y-manabe@fujikensetsu.jp（真鍋有紀子）

【発行者紹介】富士建設株式会社は、現存する五重塔55基のうち2基を建立し、「建築は文化なり」を理念に掲げて、官公庁建物・各種施設等大型建築物をはじめ、数寄屋風住宅、デザイン住宅、リフォームまで幅広く施工している。また、県下において1300区画超の宅地開発・分譲の実績を持ち、「街づくり」に対する貢献には定評がある。なお、丸亀市指定名勝である「中津万象園」の修復維持保全活動も行っている。

■営業所：高松営業所・丸亀本店・観音寺営業所

■中津万象園・丸亀美術館／丸亀プラザホテル／味処 懐風亭